

一般質問

■豪雨災害の対応について
地域との連携の強化を！

質

昨今は自然災害の危険度が高まる中、地域主体の避難誘導や安否確認などが強く求められている。また、同時に、地区のまちづくり協議会の中の部会が果たすべき役割として、市との連携強化が今一番求められている。そこで、次の3点について伺う。

- ①避難指示の誘導の方法と周知について
- ②町会の地域づくり協議会との連携がどのようになっていたのか。
- ③今回の災害により、改善・見返しすべきものがあったのか。

答

①災害の危険性が高まっている地域から、順次、避難指示及び避難所開設を行った。

②避難指示を発表した地域に対しては、市から町会長に困り事がないかなど聞き取りを行った。災害時には、町会関係者も地域の被害状況を確認し、市へ報告を行うなどの対応をさせていただいている。

③より一層の防災力の強化が必要だと感じており、市としても関係機関や町内における横のつながりを取りながら対応できるように、連携強化を図り、地域と共に防災力強化に取り組んでいく。

周知の方法

- 屋外スピーカー
- インフォメールななお
- ケーブルテレビななお
- 七尾市ホームページ
- Lアラートを利用してのテレビ局のテロップ放送
- ツイッター



中西 庸介 議員
(新政会)



今回の災害時の浜岡川の様子

一般質問

■豪雨対策について
早急な排水ポンプ車の増車を！

質

近年の異常気象により災害は激甚化し頻発する傾向にあり、豪雨や台風が多いこの時期は、市民の不安感も増しており、スピード感を持った対応、対策が必要だ。ポンプ場の増設や排水ポンプ車の増車など、市民の生命と財産を守るために、今後の豪雨対策の改善策をどのように考えているか伺う。

また、排水ポンプ車の増車は納入までかなりの時間を要する。排水ポンプ車の増車には、ぜひ補正予算を組んでも早急な対応をお願いする。

答

8月20日の豪雨時に浜岡川で氾濫が発生したため、排水ポンプ車による排水対策を行ったところ、河川の水位が下がり、効果が確認されたため、実効性の高い対策であると考えている。

現在、排水ポンプ車は、袖ヶ江地区や御祓地区を中心に運用されており、台数も2台と限られており、実効性の高い排水ポンプ車の増車のほうを優先しながらポンプ場の排水能力の検証とその対策について検討していく。排水ポンプ車の増車は、なるべく早く提案できるように財源を含め、検証、検討を進めたい。



排水ポンプ車による排水作業(浜岡川)



江曾 ゆかり 議員
(無党派)



排水ポンプ車

一般質問

■圃場整備事業の複数採択への取り組みについて
どのような準備体制で進めるのか？

質

圃場整備事業の採択及びそれに向けた体制の整備の必要性については、これまで多くの関係者から要望や議会質問があった。昨年の9月会議においても先輩議員から、複数採択について市長に考えを問うている。市長は、「事業採択に向け必要な人員や予算の確保に努め、毎年、少なくとも2、3地区ぐらいの新規採択に向け、県と協議して進めていく。整備計画も今後しっかり検討していきたい。地元においても担い手や仮同意書の確保に努力してほしい。」と答弁している。そこで、複数の事業採択に向け、どのように取り組んでいるのか伺う。

答

県営圃場整備事業の新規採択には、農地に関する将来の土地利用方針となる土地利用構想を地域と連携して定める必要がある。今年度、令和6年度新規採択を予定している2地区の土地利用構想に係る予算を確保し、1地区は既に利用構想を策定した。また、地域の準備作業を支援するため、採択の要件である「担い手の確保」、「担い手への農地の集積」などの業務に担当者を配置して複数地区での新規採択に向けた体制づくりを強化した。引き続き複数採択に向け積極的に地元や県と調整を図っていくとともに、国への要望活動にも積極的に取り組む。



原田 一則 議員
(灘会)

